

様式 8

## 令和 4 年度 (2022) 共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：乗鞍岳におけるミューオン強度の精密観測 英文：Space weather observation using muon hodoscope at Mt. Norikura	
研究代表者 加藤 千尋(信州大学) 参加研究者 宗像 一起(信州大学) 小山 守一(信州大学) 林 優希(信州大学) 青木 利文(東京大学)	
研究成果概要 今期の観測は遠隔でのスイッチ操作機器に問題が生じたため、欠測となった。原因の特定は来季上山が可能となってからになる。 他方、南極昭和基地での宇宙線連続観測は順調に継続しており、他のミューオン観測所と合わせて観測データの公開も進んでいる。観測データを使った研究成果も出始めているところである。  本年度の予算は乗鞍上山の旅費として 21 千円を使用した。	
整理番号	D02